

第22回 中学生海外派遣報告



第22回幸田町中学生海外派遣（生徒12人、引率者4人）が8月17日から24日までの8日間の日程で、中国（南昌、北京、上海）を訪問しました。南昌第一中学校での体験入学やホームステイ、また世界遺産や現地企業の見学を行いました。同世代の若者との交流を通して学んだこと、急速に発展している中国の街や歴史的遺産の見学を通して味わった感動を報告します。

交流会で感じたこと



北部中学校

吉本 丈くん

僕たちは今回の派遣で南昌市第一中学校を訪問しました。第一中学校では、体験授業、交流会を通して中学生同士の交流をすることができました。体験授業では、レベルの高さを感じた英語と、中国の伝統的な京剧の面を作る美術を体験しました。英語の授業では先生も生徒も全員が一時間ずつと英語のみを使って授業が行われました。第一中学校の生徒の発音はすごく自然で驚きました。

翌日の交流会では、僕たちは、合唱、ダンス、長縄、浴衣披露、茶道、トロンボーン、剣道、ソーランを披露しました。特に一カ月前からこの会の



▲交流会でのソーラン

第22回 中学生海外派遣団

〈幸田中学校〉

田中優喜 鈴木竜平 寺田美紅 中瀬公香 山本明日香

〈南部中学校〉

佐藤瑠希也 渡邊康介 田村花來

〈北部中学校〉

井上優希 吉本 丈 畔柳菜緒 齋藤真衣

〈引率者〉

天野ひろこ 加納達朗 山田和幹 藤井 敦

ために全員で練習してきた『ふるさと』と『ソーラン』は、「絶対に成功させる」という強い気持ちをもって、全力で取り組みました。その思いが伝わったのが、僕たちの演技が終わると、大きな拍手と歓声が会場に響きました。この会では、中国の中学生のレベルの高さにも驚きました。フルート、ギター、バイオリン、琴、習字を披露してくれましたが、どれも素晴らしいものでした。

今回の交流で一番強く感じたことは、言葉が通じなくても真剣な思いがあれば、必ず相手に気持ちは伝わるし、仲良くなれるということです。3日間の中学校訪問ですばらしい体験をさせていただきました。

多くの人の温かさに触れて



南部中学校
渡邊 康介くん

僕は今回の派遣でたくさんの方の温かさを感じました。

ホームステイが始まる時にこんなことがありました。学校からホームステイ先の家に行くのに僕の大きな荷物をファミリーの子が運んでくれたのです。また会ったばかりで、ほとんど話もしていないのに「手伝うよ」と笑顔で言ってくれました。ホームステイの初日で、緊張している僕を温かく迎えてくれたことがとてもうれしく、安心しました。僕もファミリーの子もそれほど英語はうまくなかったけれど、気持ちが通じていたので、会話もなんとなく成立しました。中国の生徒は好奇心にあふれていて「それは何?」「これはね」と、夜が更けるのも忘れて、楽しく会話を続けました。この体験を通して、自分もいろんなことに興味をもつと勉強しなければと強く思いました。

気持ちで接してあげたらと思いきい。ありがとうございました。



▲ホストファミリーと一緒に

世界遺産の見学から学んだこと



幸田中学校
幸田 美紅さん

私は、今までに味わったことのない感動を覚えました。それはテレビや写真でしか見たことのない世界遺産を自分の目と足で確かめ、その大きさや広さに圧倒されたからです。

万里の長城では、想像以上の高さで長さを、そして、それを築き上げた古人の力に驚きました。万里の長城は、春秋時代から明の時代に渡って造られたものです。運搬機械の存在しない時代に全長8000kmを超える長城を人の手で築き上げたとき、一歩一歩、歴史と感動を味わ

ながら歩を進めました。私たち団員は全員で「男坂」という急な坂道に挑戦しました。足がガクガクになりながらも、みんなで声を掛け合っ

て頂上を目指して登り続けました。片道40分程度の道のりを登り切ると、頂から見下ろす景色は最高のこ

ながら歩を進めました。私たち団員は全員で「男坂」という急な坂道に挑戦しました。足がガクガクになりながらも、みんなで声を掛け合っ



▲万里の長城にて

感動、感謝の海外派遣



団長
天野 広子
(南部中学校校長)

昨年度派遣団と同じく、中国への派遣でした。8日間の派遣の期間中、派遣団全員が元気に、そして幸田町の代表としての責任と自覚をもって研修を重ねることができたことを、大変うれしく思います。

南昌市第一中学校の関係者の皆さまが、私たち派遣団を終始熱烈に、温かく歓迎してくださいました。第21回派遣団の皆さんが昨年築きあげてくださった友好関係があったからこそ、体験授業や交流会、ホームステイなどを通して、より交流を深めることができたと思います。

中でも、生徒が中心となつての交流会では、全員が一丸となつて会を成功させようとする姿がありました。最後の出し物「ソーラン」を、一心に踊る姿は実に見事で、会場には大きな歓声が上がりました。

生徒たちは、中国の長い歴史や文化、それぞれの都市の風景や香り、人々とのふれあいなどから、多くを学び、感動、感謝の思いを強くもち、帰ってまいりました。今回の貴重な体験を学校に持ち帰り、学校生活に生かしてほしい、さらには将来、幸田町に寄与できる人になってほしいと願っています。